

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年6月13日

【評価実施概要】

事業所番号	0171400898		
法人名	有限会社ベストケアサービス		
事業所名	グループホーム高丘		
所在地	函館市高丘町53-8 (電話) 0138-36-7772		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年5月31日	評価確定日	平成19年7月3日

【情報提供票より】(平成19年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年3月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	14人, 非常勤 2人, 常勤換算 15人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	27,000 円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	150 円
	または1日当たり			円

(4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	18名	男性	8名	女性	11名
要介護1	3	要介護2	7		
要介護3	3	要介護4	3		
要介護5	2	要支援2	0		
年齢	平均 83.2歳	最低	70歳	最高	101歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	函館渡辺病院・釜田歯科医院・山谷医院はこだてペインクリニック・たけだクリニック
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は大学や専門学校のある住宅街に立地しており、周辺住宅に違和感なく溶け込んでいる。利用者は四季の移ろいを感じながら暮らし、職員は利用者と共に暮らすことを大切にしながらケアを実践している。事業所は職員の育成にも力を入れており、年に1度全職員で他の事業所見学を行い、そこで学んだことをケアに活かしている。また、近隣大学の学生ボランティア受け入れも積極的に行っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	常に利用者本位のケアを提供することを心がけ、職員同士で話し合い改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で自己評価を行い、利用者のケアの質の向上に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議において事業所の活動状況を報告し、今後の会議の進め方・市町村との密なる関係性・利用者への更なるケアの質の向上等について話し合い検討している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ホーム便りを定期的に家族に送付し、また、電話や来訪時にも家族に利用者の近況報告を行い、家族の意見・要望等を聞いてケアに活かしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	当事業所は自治会に参加しており、事業所について理解を得ている。また、事業所の行事に近隣住民が参加するなど地域との連携が密に取れている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念でもある「個の尊重」に沿い、利用者一人ひとりが楽しみながら生活出来る様、職員は寄り添い見守ることを心掛けている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を常に職員の目に付くところに掲示し、共有しながら日々のケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	当事業所は地域の行事に積極的に参加しており、地域住民との交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が評価の意義を十分理解しており、自己評価も全職員で行っている。また、評価の結果を次に活かせるよう真摯に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議の内容を全職員が把握しており、サービスの質の向上に繋げるような取り組みがなされている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村担当者とは日頃から密に連絡を取っており、共に日々サービスの質の向上に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に発行しているホーム便り送付時や電話にて利用者の日々の暮らしぶりや健康状態を報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>職員は、来訪時や電話にて家族が気軽に意見等を話せるような雰囲気づくりを心掛けている。また、家族の意見・要望はミーティングや運営会議において話し合い反映されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者・家族との信頼関係を築くためにも、職員の異動は最小限にするよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員は積極的に外部研修に参加している。また、研修報告は全体会議にて発表し、報告書を全職員で閲覧し周知が図られている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区のグループホーム協議会に加入しており、他のグループホームと交流した際に意見交換をし、日々のケアに活かしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居する前に利用者本人・家族が事業所を見学し、馴染みの関係が出来てから入居するなどの配慮がなされている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人の生活歴などの情報収集を行い、日々の生活において共に支え合いつつ、お互いが協働して和やかな生活を過ごせるような配慮がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>会議等において話し合い、検討しながら一人ひとりの思いや希望に沿えるように全職員が努めている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>全職員でアセスメント・モニタリング・カンファレンスを行い、利用者がその人らしい生活を送れるように努めている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>見直しは定期的に行っており、利用者の状況変化や家族の意向に応じてそのつど見直しを行っている。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者のかかりつけ医への受診や馴染みの理美容院への付き添いなど、一人ひとりの希望・要望に応じた柔軟な支援がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者家族の協力の下、通院介助を行ったり、協力医療機関・かかりつけ医での受診・訪問診療など状況に応じた医療が受けられるような支援を実践している。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	終末期に向けたケアについて入居時に家族に十分説明している。また、全職員で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	利用者の誇りやプライバシーを損ねないような徹底した配慮がなされている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	散歩や買い物など一人ひとりの状態や思いに配慮しながら、その人らしい暮らしができるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の買い物・調理・盛り付け・後片付けなど力量に応じて利用者と職員が一緒に行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望を尊重し、ゆっくりと心地良く入浴できるような支援がなされている。	○	夜間入浴を希望する利用者に対応し、現在その実現に向けて職員の勤務調整を行っているところである。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者の生活歴や経験等を把握しており、一人ひとりの得意分野で力を発揮できるような支援がなされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者本人の希望に応じて職員の配置を調整し、買い物や散歩など外出することにより、季節を肌で感じ心身のリフレッシュが図られるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は施錠しているが、日中は鍵をかけていない。また、利用者が外に出る様子の時は、職員がさりげなく声掛けをするなどし、安全面に配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力の下、年に2回避難訓練を実施しており、災害時には速やかに避難出来る方法を身につけている。また、地域住民にも協力が得られるよう日頃から働きかけている。	○	今後、緊急時に備えて心肺蘇生法の訓練に取り組むことが望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取チェック表を作成しており、職員は把握している。また、栄養面においても偏りのないような献立が作られている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間にはハーブを飾るなど季節を感じられるような工夫がなされている。また、台所は広くゆったりとしており、居間や廊下の明るさにも配慮がなされている。廊下には、椅子とテーブルが置かれており、一人でも落ち着いて過ごせるような居場所づくりの工夫もなされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本人が使い慣れた家具や調度品・思い出の品などが持ち込まれており、居心地の良い居室作りがなされている。		

 は、重点項目。